



2023 年 11 月 9 日 株式会社 LIVE BOARD 一般社団法人東京ビエンナーレ

# 東京の地場に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ 2023 LIVE BOARD が特別協力

# イベント告知放映、「話すビル」「天馬船」ライブストリーミング配信実施報告



# LIVE BOARD×東京ビエンナーレ2023

※画像は当日のイメージとなります

株式会社 LIVE BOARD (本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 櫻井 順、以下 LIVE BOARD) は、2023 年 9 月 23 日 (土) ~11 月 5 日 (日) に開催された、東京の地場に発する国際芸術祭 東京ビエンナーレ 2023 (主催:一般社団法人東京ビエンナーレ、代表理事 中村政人) において、特別協力として参加したことをご報告いたします。

## ◆東京ビエンナーレ 2023

今年で2回目となる東京ビエンナーレ2023は、「リンケージ つながりをつくる」がテーマです。リンケージとは、人間関係だけではなく、場所、時間、人、微生物、植物、できごと、モノ、情報などあらゆる存在が複雑に関係しながら、刻々と変容していく世界に生きているからこそ見いだされていく「関係性=つながり」です。

#### ◆LIVE BOARD×東京ビエンナーレ、特別協力としての取り組み

当社は以下、3つの内容を実施いたしました。

- ① イベント告知の放映を LIVE BOARD にて実施
- ② 「話すビル」新宿駅東南口前・長野屋ビル ライブストリーミング配信
- ③ 「天馬船プロジェクト 2023/日本橋川」 ライブストリーミング配信

#### ◆各開催概要

#### ① 東京ビエンナーレ 2023

実施日: 2023年9月23日(土)~11月5日(日)/秋会期

開催会場:東京都心北東エリア(千代田区、中央区、文京区、台東

区の4区にまたがるエリア) 、歴史的建築物、公共空間、学校、

店舗屋上、遊休化した建物等(屋内外問わず)

公式サイト: https://tokyobiennale.jp

公式 SNS

X: https://twitter.com/tokyobiennale

Facebook : https://www.facebook.com/tokyobiennale

Instagram: https://www.instagram.com/tokyobiennale

告知放映期間: 2023 年 10 月 21 日 (土) ~11 月 5 日 (日) ※一部放映終了日が異なります



東京ビエンナーレでは、ひとつの施設内で開催されるイベントではなく、東京都心北東エリアを舞台としているため、各展示会場がエリア内で離れています。今回、開催会場を来場者にわかるように、LIVE BOARD の屋外ビジョンを活用し、開催会場の方向と入口の様子を放映。屋外ビジョンで告知するだけでなく、会場への道案内も兼ねた映像を公開しました。(各エリアに合わせ、10 クリエイティブを制作)

## ▼実施当日の実施の様子:

美術館によくある順路の表示が、街中の大きなビジョンに突然現れることで、街ゆく人に驚きを与えていました。東京全体が美術館になっている東京ビエンナーレ 2023 ならではの表現でした。

当日の様子(東京・上野/TSD ビル:動画): https://youtube.com/shorts/DT6jIFgqRl0









### ② 話すビル/新宿長野屋ビル (ライブストリーミング配信)

#### ▼概要:

「話すビル」は、新宿長野屋ビルに設置されている屋外ビジョン、LIVE BOARD のスクリーンにそのビルの窓や壁が顔のように出現し、参加者がマイクで話しかけると、近辺の街の歴史などを語ってくれるインタラクティブなアートイベントです。忘れられている東京の記憶は、大規模言語モデルの中に眠っていると考え、「話すビル」の会話には ChatGPT を活用します。屋外ビジョンが、建物そして AI と一体化して人々と話す画期的な挑戦です。

このイベントは、東京ビエンナーレのリンケージの一つである

「Not Lost Tokyo」プロジェクトの一環として行われます。「Not Lost Tokyo」は、東京の失われていく記憶や風景を、 言葉、写真、3D モデル、AI など様々な方法で次の世代へつないでいくことを試みています。

会場・放映媒体:東京・長野屋ビル(新宿駅東南口前)

住所:東京都新宿区新宿3-35-7

URL: https://liveboard.co.jp/screen/000806.html

# ▼実施当日の様子/コメント:

新宿長野屋ビル近辺に、移動型の装置とその装置につながれたマイクを用意し、街ゆく人にビルとの対話を促しました。「あなたの名前は?」「ビルの歴史を教えて!」「新宿はどんな街ですか?」など参加者の方々がマイクに話しかけると、 新宿長野屋ビルのビジョンに現れたビルの顔が答えました。大正時代からはじまった長野屋の歴史や、関東大震災や戦争の記憶など、新宿の街を見続けてきた、まるで長老のような言葉に参加者の方々も驚きながら楽しんでいました。

当日の様子(東京・新宿/長野屋ビル:動画): https://youtu.be/Ma6k8jEMNIw











# ③ 天馬船プロジェクト 2023/日本橋川 (ライブストリーミング配信)

# ▼概要:

「天馬船プロジェクト 2023/日本橋川」は、木造和船を模した 長さ約 30 cmのミニ天馬船を一万艘、日本橋川に浮かべ、川の流 れにまかせて無数の小さな船が進む風景を楽しむコミュニティ アートプロジェクトです。日本橋をゴール地点として、その上



流から一斉にスタート。眺めるだけでなく、1,000 円の寄付につき 1 艘を登録してタイムトライアルに参加可能。地域を盛り上げ、世界に向けて日本橋川の魅力と価値を発信します。参加登録費の一部は、到着順に応じた記念品贈呈と、河川浄化、水辺活性、文化振興、伝統的な天馬船制作などに活用します。ミニ天馬船は杉の間伐材を使って制作されており、イベント終了後には回収・洗浄して再利用します。

URL: <a href="https://tokyobiennale.jp/tb2023/news/call-for-tenmasen-project-2023-time-trial/?lang=ja">https://tokyobiennale.jp/tb2023/news/call-for-tenmasen-project-2023-time-trial/?lang=ja</a> <a href="https://tokyobiennale.jp/tb2023/linkage/tenmasen-project-2023-nihonbashi-river/?lang=ja">https://tokyobiennale.jp/tb2023/linkage/tenmasen-project-2023-nihonbashi-river/?lang=ja</a>

開催日:2023年10月29日(日)8:00~12:00

開催場所:東京・日本橋川 / 日本橋・八重洲・京橋・銀座エリア

ライブストリーミング配信時間:2023年10月29日(日)8:00~10:00

ライブストリーミング配信媒体: <u>井上ビル</u> (千代田区神田須田町 1-2-1)、<u>早田ビル</u> (台東区上野 4-9-5)、<u>オオタビル</u> (千代田区神田小川町 3-10-37)、わけ屋ビル(中央区人形町 2-6-4)、御徒町ライフビル(台東区上野 6-2-2)

#### ▼実施当日の様子/コメント:

5つのビジョンで、日本橋川を進んでいく天馬船のレースの様子を中継するライブストリーミングを行いました。通行人の方々が足を止めて、屋外ビジョンを見上げていました。レースの鑑賞場所を、川沿いだけではなく、東京の各地に広げることができました。

当日の様子(東京・神保町/オオタビル): デジタル OOH×YouTube、同時ライブストリーミング配信





◆本イベントのお問い合わせ先

東京ビエンナーレ事務局 info@tokyobiennale.jp

#### ◆一般社団法人東京ビエンナーレ



東京ビエンナーレとは、東京のまちを舞台に2年に1度開催する国際芸術祭。東京のまちに国内 外から幅広いジャンルの作家やクリエイターが集結し、まちに深く入り込み、地域住民の方々と 一緒に作り上げていく芸術祭です。URL: https://tokyobiennale.jp/concept

## ◆株式会社 LIVE BOARD



データドリブンにターゲティングや効果検証を実現する デジタル OOH アドネットワークオペレーター

OOH 領域において国内で初めてインプレッション(VAC)に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、"そのとき、その場所で、その広告を"見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった"ヒト"基点による配信を可能にしました。

# ◆LIVE BOARD のインプレッション(VAC)定義

LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション(VAC=Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数)を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数(OTS=Opportunity to See)のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるのべ人数(OTC=Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮)を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうのべ人数(VAC)を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 櫻井 順
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階
資本金	25 億円
営業開始日・創立日	2019年2月1日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営 デジタル OOH 広告媒体の開拓 デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

<本リリースに関するお問合わせ先> LIVE BOARD 広報事務局 担当:朝倉、安部

TEL: 090-5393-0219 / 03-5843-0932 E-mail: info\_press@liveboard.co.jp

一般社団法人東京ビエンナーレ広報窓口(若林、岩本、秋山)

TEL: 03-5816-3220 FAX: 03-5816-3221 MAIL: pr@tokyobiennale.jp